

発生・ 受信月日	発生場所				事故区分			措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
	調査月日	水域名	派川名 運河名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ 他				
7月14日 ・ 7月14日	7月14日	鶴見川	矢上川	宮前区 梶ヶ谷		○		① 調査 ② 回収等対策 ③ 工場等指導	矢上川で油が流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。現地到着時には油膜が通報場所にはなく、下流側を流れており、原因特定には至らなかった。		
7月28日 ・ 7月28日	7月28日	多摩川	平瀬川	宮前区 菅生			○	① 宮前区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② ③ 環境局環境対策課	平瀬川で漂白剤の臭いがある発泡水が流れているという連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。バックテスト等簡易試験を行い、水路をたどったところ、近隣事業所の汚水処理施設に投入した消毒剤による残留塩素により川に影響が出たことが判明した。	判明	原因者に、消毒剤の投入量を調節するよう指導した。
7月30日 ・ 7月30日	7月30日	多摩川	二ヶ領用水	高津区 久地			○	① 高津区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② ③	二ヶ領用水近くにある事業所敷地内のスクラップから、雨水とともに油が道路側溝に流れ、二ヶ領用水に流れ込んでいるという連絡があった。関係機関と実地調査を行ったところ、事業所敷地前の道路側溝には油は見られず、原因特定には至らなかった。		
8月21日 ・ 8月21日	8月21日	東京湾	京浜運河	川崎区 東扇島			○	① 川崎海上保安署 消防局 港湾局 環境局環境対策課 ② 消防局 港湾局 ③	大型トラックから燃料タンクが脱落し、軽油が路上に漏洩、170Lが道路側溝を経由して海へ流れたという連絡を受け、関係機関が出動し、油膜処理等を行った。	判明	原因者に、再発防止等の指導を行った。
8月21日 ・ 8月21日	8月21日	多摩川	平瀬川	宮前区 神木本町			○	① 宮前区役所道路公園センター 高津区役所道路公園センター 環境局環境対策課 ② ③ 環境局環境対策課	平瀬川一本橋上流の水路から白濁水が流れているのを発見し、関係機関と実地調査を行った。水路上流をたどったところ、塗装業者敷地内の流し台からの配管が道路側溝に差し込まれており、道路側溝がペンキで白くなっていることが確認された。流し台からの排水を雨水側溝に流さないよう指導した。	判明	原因者に、事故原因、事故時の措置、再発防止策等を記載した報告書の提出及び再発防止の指導を行った。
8月23日 ・ 8月23日	8月23日	東京湾	田辺運河	川崎区 扇町			○	① 川崎海上保安署 消防局 港湾局 神奈川県警察 環境局環境対策課 ② 川崎海上保安署 ③	田辺運河で油が浮遊しているという連絡があり、関係機関が出動し、油膜処理等を行った。近隣の排水口から油の流出がないことを確認したが、原因特定には至らなかった。		
8月25日 ・ 8月25日	8月25日	東京湾	京浜運河	川崎区 千鳥町			○	① 川崎海上保安署 消防局 港湾局 環境局環境対策課 ② 海上保安署 港湾局 ③ 港湾局 環境局環境対策課	事業所で火事があり、消火の際の廃液が海に流出する可能性があるとの連絡を受け、関係機関と実地調査を行った。排水口にオイルフェンスを設置し、最終的には拡散処理を行った。	判明	原因者に、事故原因、事故時の措置、再発防止策等を記載した報告書の提出及び再発防止の指導を行った。

発生・ 受信月日	発生場所				事故区分			措置機関名	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者 判明区分	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
	調査月日	水域名	派川名 運河名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他				
9月17日 ・ 9月17日	9月17日	東京湾	田辺運河	川崎区 大川町		○		①川崎海上保安署 消防局 港湾局 神奈川県警察 川崎区役所道路公園センター 南部下水道事務所 環境局環境対策課 ②川崎海上保安署 港湾局 ③川崎海上保安署 環境局環境対策課	田辺運河で油が浮遊しているという連絡があり、関係機関が出動し、実地調査を行なった。流出している排水口を確認してオイルフェンスを設置し、上流をたどったところ、金属スクラップ等を取り扱っている事業所から油が流出したことが判明した。	判明	原因者に、再発防止等の指導を行った。
小 計					0	5	3			判明：5	
合 計					8					不明：3	